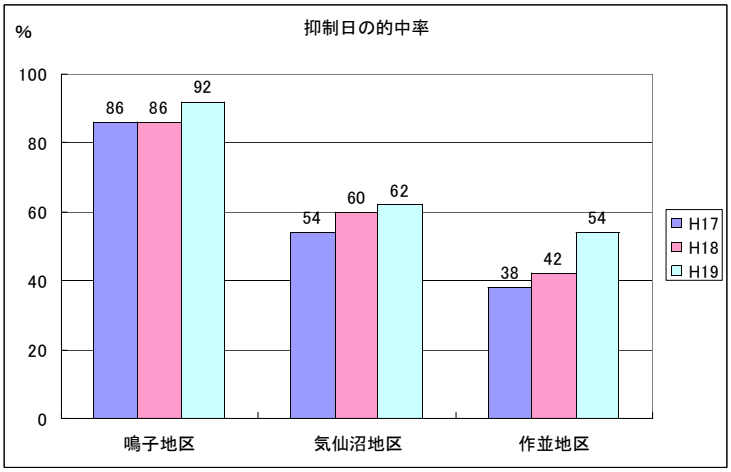
（別紙）

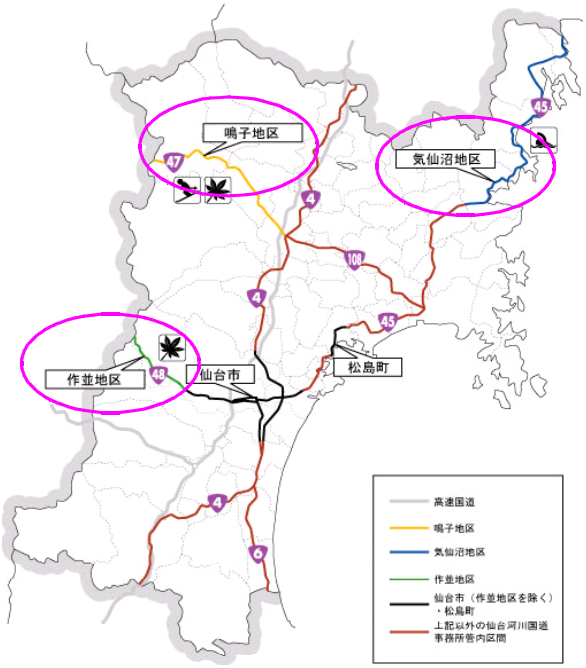
①路上工事抑制カレンダーの効果の検証について

ｉ路上工事抑制カレンダーで設定した抑制日の的確性

平成１７年度～平成１９年度における昼間の１２時間交通量上位５０位で検証した結果、３地区における的中率は次のとおりであった。
結果としては、毎年抑制日を新たに加えたり、修正していることで、的中率が年々上がっていることが伺える。



路上工事抑制カレンダー対象区間一覧



②今年度の取り組み内容について

1）2008年度路上工事抑制カレンダー

鳴子地区　:「紅葉シーズン」と「６月」「７月」の週末（土曜日）の抑制については、ほぼ現状を反映した設定となっていることが確認できた。
本年度も同様な考え方で設定する。

気仙沼地区：気仙沼地区の海水浴シーズンについては、過去２年間の交通量を精査した結果、７月２２日から８月２日までを抑制日とする。

作並地区　:「さくらんぼ狩り」時期の抑制についてはすべて的中しており、本年も同様な考え方で設定する。また、上位に土曜日の交通量が増える時期を掴めたことから、下記の期間を新たに追加する。

①４月下旬の（第３週、４週土曜日）を新たに抑制日とする。
②６月、７月、９月の毎週（土曜日）を新たに抑制日とする。
③９月６日から１１月２２日までの毎週土曜日
④１１月７日から１１月２１日までの毎週金曜日